

手軽に試せる

ASP.NET

入門に最適!

Webアプリケーション開発環境 Web Matrix の実力

グレースシティ株式会社
アドバイザースタッフ
こだか かおる KODAKA, Kaoru

はじめに

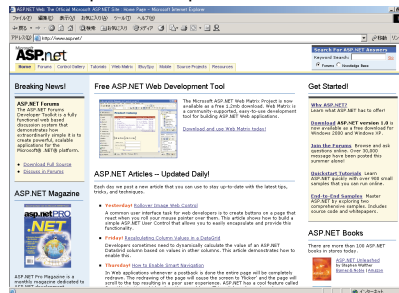
ASP.NETは試してみたいけど、IIS (Internet Information Services) を入れるのはちょっと面倒だし、セキュリティも気になる……。そんなあなたにお勧めなのが、Web Matrixです。Web MatrixはMicrosoft製のASP.NET用開発ツールで、無償で配布されています。配布サイトは、「<http://www.asp.net/>」で、このツールはすべてC#で作成されているということです(図1)。Visual Studio.NETをもっていないユーザーでも、気軽にダウンロー

ドして試すことができます。

動作環境は、ASP.NETと同様で、Windows 2000のProfessional版とServer版、さらに、Windows XPのHome EditionとProfessional Editionになります。Windows 98やWindows NT 4.0では動作保障されていませんが、これは仕方がないところでしょう。このほかに必要なコンポーネントとして、Internet Explorer 5.5以降、.NET Frameworkがあり、これらがインストールされている必要があります。

注) Web MatrixではIISを利用することもできますが、簡易Webサーバーが付属しているのでIISは必須ではありません。

図1: <http://www.asp.net/>



データベースアプリケーションを作成したいときは、同じサイトにMSDE (Microsoft Database Engine) がありますので、これを利用すればよいでしょう。もちろん、SQL Serverでも問題ありません。

Web Matrixで対応している開発言語は、C#とVisual Basic.NETです。こうなると、Visual Studio.NETとの違いが気になるところですが、FAQページには(表1)のような違いがまとめられています。要するに、実際の開発に使うというより、学習用途や限られた範囲での使用を想定しているのでしょう。

本稿で前提となるもの

OS	Windows 2000 Professional (SP3) 以降
	Windows 2000 Server (SP3) 以降
開発環境	Internet Explorer 5.5 (SP2) 以降
	.NET Framework 1.0.3705.288 (SP2)
	ASP.NET Web Matrix 0.5.464.0

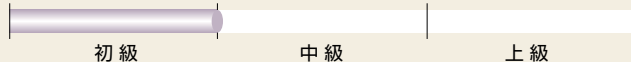


表1：Visual Studio.NET との違い

インテリセンスによるコード補完がサポートされていない
デバッグ機能がサポートされていない
複数開発者向けソース管理機能がサポートされていない
Windows Forms アプリケーション、Windows Service アプリケーションなどがサポートされていない
エンタープライズアプリケーション開発機能がサポートされていない
無償である

ダウンロード&インストール

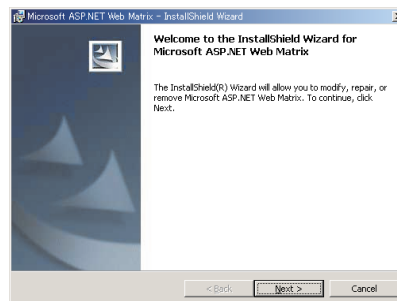
まずは、ASP.NETのサイトから Web Matirxのインストーラをダウンロードします。サイズは1.2MBととても小さく、ダイヤルアップ環境でも問題なくダウンロードできます。E-mail アドレスなど、必要な項目を登録しながら [Next] リンクをクリックしてゆくと、ダウンロードができるページが表示されます。

ダウンロードが終わったら、引き続きインストールを行ないましょう (図2)。とくに難しいところはありません。

「License Agreement」に答え、後は必要に応じてインストールオプションを変更してゆけばよいだけです。インストールができない、インストールしても実行できないというときは、必要なコンポーネントが正しくインストールされているか、もう一度確認してみてください。

Web Matrixをインストール後、デフォルトでは「C:\Program Files\Microsoft ASP.NET Web Matrix\」フォルダと、その下にバージョン番号の付いたサブフォルダが作成されます。インストールされるのは、Web Matrix 自身 (WebMatrix.exe)、簡易 Web サ

図2：Web Matrix インストーラ



ーバー (WebServer.exe)、クラスのプロパティやメソッドを調べるツール (ClassBrowser.exe) という3つの実行ファイルに加え、ライブラリ、Web アプリケーションを作成するときに利用する各種のテンプレート (表2) などです。残念なことにヘルプはすべてWeb上のものを利用するようになっているため、ダイヤルアップなどの低速回線ユーザーには少々つらいところです。なお、これらのテンプレートは、必要最低限のタグやスクリプトしか含まれていません。たとえば、HTMLのキャラクタセットを示すタグなどは含まれて

表2：WebMatrixに用意されているテンプレート

General	ASP.NET ページ	DataPage	ページ処理付き Data Report	
	ASP.NET ユーザーコントロール		ページ処理ソート処理付き Data Report	
	HTML ページ		Master-Detail 表形式ページ	
	XML Web サービス		編集可能データグリッドページ	
	クラス		ストアプロシージャを利用したページ	
	スタイルシート		Mobile Page	Simple Mobile Page
	Global.asa			Simple Mobile ユーザーコントロール
	Web.Config			Output Caching
	XML ファイル		Security	ログインページ
	XSL Transform			ログアウトページ
	XML Schema			Config ファイル
	ASP.NET HTTP Handler		Web サービス	Simple Web サービス
	テキストファイル			SOAP ヘッダー
	SQL Script			カスタムクラス
	Output Caching			
DataPage	Simple Data Report			
	Filtered Data Report			